

未来を拓く。

### きんでん学園

〒663-8222 西宮市今津久寿川町12番77号  
TEL. 0798-33-2200



※きんでん学園の見学をご希望の方は、  
事前にお問い合わせください。



### 人材開発センター

〒270-1342 千葉県印西市高花1丁目21番地  
TEL. 0476-45-2000



株式会社 **きんでん**  
<https://www.kinden.co.jp/>

Kinden

# 人間的にも技術・技能的にも 優れた人材の育成拠点

企業の力、それは社員一人ひとりの力の総和にほかなりません。

＜きんでん＞では、企業を取り巻く環境の変化に対応し、  
時代のニーズを先取りすることのできる人材を育成するため、

全従業員の能力開発を積極的に展開してきました。

豊かな人間性、めざましく進展する技術革新に対応しうる技術と技能、

そして厳しい環境下での作業にも耐えうる体力・気力など、

人間的にも技術・技能的にも優れた人材の育成が、

創業以来の教育のテーマです。

そうした優れた人材育成の歴史と伝統を引き継いできたのが、この「きんでん学園」です。

社会のあらゆるフィールドで活躍する総合設備エンジニアリング企業を支える人材育成の拠点として、

また海外のグループ会社を含め外国人スタッフに技術移転を行う国際交流の拠点として、

これからもきんでん学園は、幅広い教育活動を推進していきます。

## きんでん学園 とは

### 「心・技・体」三位一体の 全人教育の拠点

「きんでん学園」は、＜きんでん＞創業 10 周年事業として  
設立された、半世紀以上の歴史を誇る教育訓練拠点です。  
入社 1 年目の新人を、優れた技能者として、また豊かな人間性  
を有する社会人として育成する施設です。

5,500 坪の敷地内には研修施設をはじめ、設立時からの  
教育方針である「心・技・体」三位一体の全人教育を行う  
ための全寮制宿舎、実習場などがあります。また、教育・  
訓練設備として、新入社員教育を主目的とした設備が完備  
され、安全・品質を最優先とする実践的教育訓練を実施  
しています。

企業の発展には「人材育成」が欠かせません。「きんでん  
学園」は半世紀以上にわたりその重要な役割を担うと共に、  
社会のグローバル化にともない、ビジネス交流のあるアジア  
諸国を中心とした海外からの研修生を積極的に受け入れ、  
技術・技能を諸外国に移転する国際貢献にも尽力してき  
ました。

「技術のきんでん」を自負する当社においては、人材育成の  
拠点としてのこのきんでん学園の役割が、ますます大きな  
ものとなっています。

## きんでん学園 の教育方針

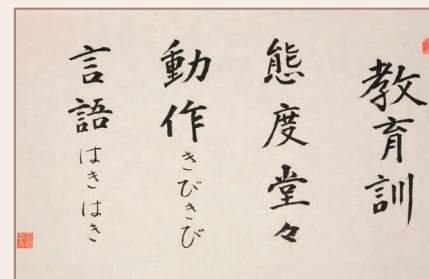
### 三位一体教育

設立以来、受け継がれてきた「きんでん学園」の教育方針は、  
「心を磨き、技を練り、体を鍛える」の言葉によって表現されてきた、  
「三位一体の全人教育」です。単に技能の習得を行う場では  
なく、人間として、良き社会人として社会に貢献できる、豊かな  
人格を持った若者を育てる教育施設であることを基本理念  
としてきました。

### 教育訓

「態度堂々、動作きびきび、言語はきはき」

ものを言えばはっきりと、行動を起こせばきびきびと、表裏のない  
堂々とした若者を育成する。これが「きんでん学園」の方針です。



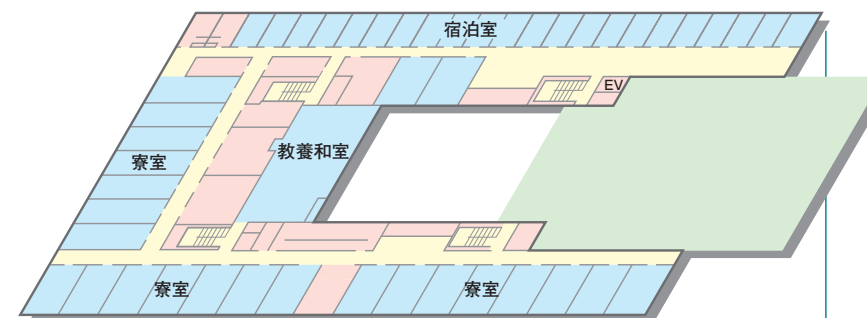
## 施設 紹介

施設は大きく分けて、研修棟（事務所棟）と寮棟に分かれます。

研修棟には事務室や研修室、体育室等があり、寮棟には寮室や食堂、浴室等があります。

## Floor Guide フロアガイド

4F



心と技の伝承館



ロビー



寮室



研修室



体育室



トレーニングルーム

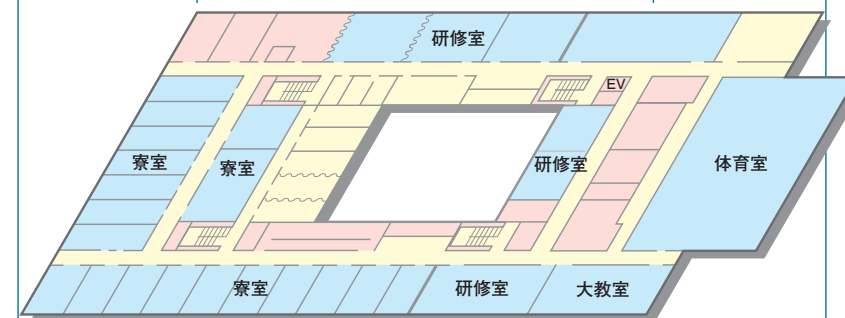


食堂

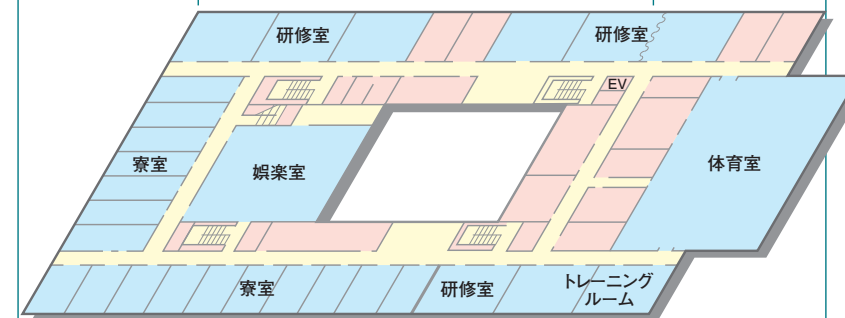


大浴場

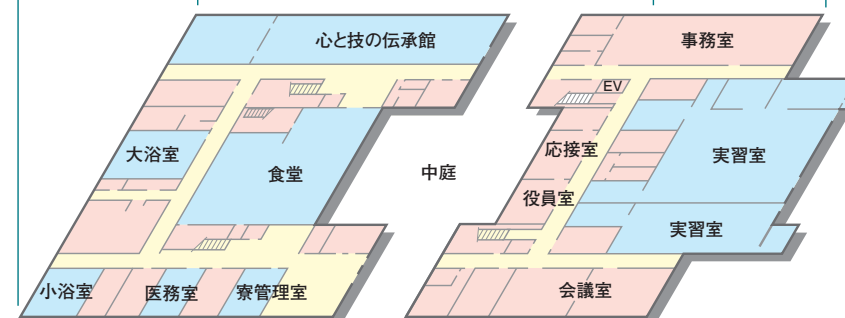
3F



2F



1F



所定のカリキュラム修了後には現場で即戦力として活躍できる技能者を育成しています。

# 送配電科「配電・送電線工事」

## 発電所からお客様へ電気を送り届ける技術者を養成

発電所でつくられた電気を高圧で送電し、工場やビル、一般家庭などのエンドユーザーまで送り届けるための電力供給設備部門のエキスパートを養成します。街中の配線工事や、電柱から家屋への引き込み線工事、電力量計の取付けなどの工事を受け持つのが<配電工事>、発電所から変電所への特別高圧送電線関係の工事を受け持つのが<送電線工事>です。高所における作業、高圧の電気を扱う危険度の高い業務だけに、教育訓練は常に真剣。気力・体力・

技能を養い、難局にあたっても仲間と一体となって乗り切る信頼関係を形成します。1995年に発生した阪神・淡路大震災や、近年の記録的な台風被害等の電力供給を復旧させた技能者たちの多くはこの送配電科で学んだ者たちでした。高品質で安定した電力供給の一翼を担い、「電気」というなくてはならないライフラインを支え、責任感にあふれた技能者たちを現在も多数輩出しています。

### 取得を目指す資格

| 資格       |
|----------|
| 配電工事作業資格 |
| 配電工事指揮資格 |
| 電気工事士    |
| 工事担任者    |
| 電気主任技術者  |



# 電気工事科「一般内線工事」

## ビルや建物などの屋内配線工事の技術者を養成

ビルやオフィス、商業施設、公共施設などの屋内配線のエキスパートを養成します。電気設備では、受変電・非常用電源・幹線・照明・動力・監視制御・放送・電話・防災・防犯など、習得する技術は非常に多岐にわたります。また、電気のみならず、情報通信関係のシステムに関わる分野も増え、高度情報化対応ビルにおける光LANシステムの構築など、さらに付加価値の高い情報機能が備えられた、電気・通信インフラを包括的にコントロールする独自

システムなどの先端技術も学習します。この分野では毎年、技能五輪が開催され、きんでん学園では多数の優秀な技術者を輩出してきました。とりわけ世界の最高峰を競う国際大会では電工職種・情報ネットワーク施工職種においては2017年までに9人の優勝者をはじめ数多くの入賞者を誕生させ、「技術のきんでん」の名を世界に知らしめる原動力となっています。

### 取得を目指す資格

| 資格         |
|------------|
| 電気工事士      |
| 消防設備士      |
| 電気工事施工管理技士 |
| 電気主任技術者    |
| 工事担任者      |



# 空調管工事科「空調管工事」

## 様々な建物の快適環境を実現する技術者を養成

オフィスや宿泊施設などの様々な建物の快適環境を実現する空調管工事の技術者を養成します。配管工事は、給水・給湯・排水・圧縮空気・蒸気・冷温水など多岐にわたり、それぞれ配管材料や接続方法が異なります。特に近年、配管材料は、鋼製配管から高性能ポリエチレン管などの新材料に変化してきており、最新の知識や技術を身に付けておくことが必要不可欠です。

建物における配管は、人体でいうと血管の役割を果たします。建物に生命を吹き込み、建物の健康を維持するための配管工事の技術を習得します。また、個々の建物の機能性や快適性、安全性のみならず、災害時のBCP(事業継続計画)対策など災害に対する価値の高い設備、省エネルギーや自然環境へ配慮した付加価値の高い設備を創出する技術者を養成します。

### 取得を目指す資格

| 資格        |
|-----------|
| 配管技能士     |
| 消防設備士     |
| 管工事施工管理技士 |
| 電気工事士     |

# 全寮生活で育まれる 連帯感と強い絆

<きんでん>の発祥事業である電気工事は、目に見えない電気を扱う業務です。そして、きんでん学園が「心・技・体」三位一体の全人教育を掲げたのは、高品質な電力の安定供給という重大な使命を完遂するためでした。1年間、寝食をともにする全寮制という教育方針が、学ぶものの人格と確実な技能を磨き、「One for All（まず仲間のことを考える）」というチームワークをつくりあげていきます。

| 年間カリキュラム |           |                                                                                                                                                         |
|----------|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4月       | 導入教育      | (入寮・入社式)<br>● 社会人としての自覚と会社概要の理解                                                                                                                         |
| 5月       | 基本・現場実習   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 基本実習</li> <li>● 現場派遣に必要な基礎知識、基本技能の習得</li> <li>● 現場作業の実態に合わせた基本実習により、正しい作業手順を体得。各職種の基礎知識を座学での研修により習得</li> </ul> |
| 6月       |           |                                                                                                                                                         |
| 7月       |           |                                                                                                                                                         |
| 8月       |           |                                                                                                                                                         |
| 9月       |           |                                                                                                                                                         |
| 10月      |           |                                                                                                                                                         |
| 11月      | 修了教育・技能照査 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 現場実習</li> <li>● 各営業所に派遣している人材開発部訓練チームや、支店支社の施工部のもと、現場での作業実習を通して指導</li> </ul>                                   |
| 12月      |           |                                                                                                                                                         |
| 1月       |           |                                                                                                                                                         |
| 2月       |           | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 修了教育（修了式）</li> <li>※職種により基本・現場実習の期間が異なります。</li> </ul>                                                          |
| 3月       |           |                                                                                                                                                         |



辞令交付式



出発式



## 寮生活

### 1日のながれ

|                    |          |                            |
|--------------------|----------|----------------------------|
| 6:30               | 起床       | 朝6時半に起床。規則正しい生活が学園のモットー    |
| 6:45 - 7:00        | 点呼<br>体操 | 体操やランニングで体をほぐす             |
| 7:00 - 8:00        | 掃除<br>朝食 | 寮内清掃及び朝食                   |
| 8:15               | 出勤       | 自室を整理整頓後、出勤                |
| 8:30               | 就業       | 朝礼の後は午前の課業。専門学科のほか、実技学習も充実 |
| 12:15 - 13:15      | 昼食<br>休憩 | 食堂で昼食                      |
| 13:15 - 17:30 (15) | 就業       | 午後の課業                      |
| 17:30 (15) - 19:00 | 夕食       | 1日のスケジュールを終えて夕食            |
| 17:30 (15) -       | 自由       | 夕食後は買い物に出るもよし、仲間とくつろぐもよし   |
| 20:30              | 門限       | 外出は夜8時半まで                  |
| 17:30 (15) - 21:45 | 入浴       | 入浴は21時45分まで                |
| 21:00              | 点呼       | 点呼を終えて就寝／22時までは自由時間        |
| 22:00              | 消灯<br>就寝 | 自然と規則正しい習慣が身につく            |

( )内は冬時間

## 学園の 沿革

## 「技術のきんでん」を支える人材を 輩出してきた伝統の学び舎

きんでん学園は、大阪市内で産声を上げて以来、千里丘、甲子園と学び舎を移してきました。現在の校舎は創設から4代目となります。

|              |                                  |
|--------------|----------------------------------|
| 1954年(昭和29年) | 施工系社員の養成のため「技術員養成所」として開設         |
| 1959年(昭和34年) | 事業内職業訓練認定(送配電科、電気工事科)            |
| 1962年(昭和37年) | 技能五輪国際大会優勝(石井広勝、スペイン)            |
| 1965年(昭和40年) | 訓練施設の甲子園移転と同時に「教育訓練所」と改称         |
| 1970年(昭和45年) | 技能五輪国際大会優勝(工藤義美、日本)              |
| 1971年(昭和46年) | 「高等技能訓練校」と改称<br>科学技術学園高校と教育連携を開始 |
| 1981年(昭和56年) | 新校舎(4代目)竣工                       |
| 1982年(昭和57年) | 海外(マレーシア)からの初の研修生を受け入れ           |
| 1985年(昭和60年) | 技能五輪国際大会優勝(藤田正二、日本)              |
| 1988年(昭和63年) | 技能五輪国際大会優勝(工藤直記、オーストラリア)         |
| 1990年(平成2年)  | 社名変更に伴い「きんでん学園」と改称               |
| 1995年(平成7年)  | 東日本での教育拡充のため「人材開発センター」を千葉県印西市に開設 |
| 1999年(平成11年) | 「人材開発部」と改称                       |
| 2007年(平成19年) | 技能五輪国際大会優勝(堀井裕貴、日本)              |
| 2009年(平成21年) | 技能五輪国際大会優勝(川下政彦、カナダ)             |
| 2013年(平成25年) | 技能五輪国際大会優勝(坂本瑞義・宇都宮晋平、ドイツ)       |
| 2015年(平成27年) | 技能五輪国際大会優勝(島瀬竜次、ブラジル)            |
| 2018年(平成30年) | 人材開発センターに安全体感施設を開設               |



初代訓練所(大阪)



現校舎(1981年竣工)

## 学園の 伝統

### 何苦楚精神

1960年(昭和35年)、千里丘技術員養成所時代に誕生した学園の精神です。朝礼では、全生徒が「なにくそ!」と唱和し、辛い時、苦しい時には、この精神を思い出し、苦難を克服しました。この「何苦楚精神」は、訓練生や卒業生にとって、忍耐と勇気を奮い立たせる気合いの源です。創設から半世紀以上が過ぎ、教育実習のカリキュラム内容は大きく様変わりしましたが、学園に受け継がれる精神は、変わることはありません。



### 五分前精神

行動を起こす基本として定刻の5分前には必ず所定の場所に居ること。これが学園創設時からの伝統です。遅刻するなどもってのほか! 日頃から余裕をもった行動をするように厳格に指導しています。

### 段取り・真剣・後始末

仕事(業務)では、「方法・順序の確認・準備に怠りなく、仕事に取り掛かれれば真剣に、そして仕事が終われば後始末」すべてができてはじめて仕事の完成と言えます。このことを常に肝に銘じるよう教育を進めています。

### 整理整頓

○トイレの履き物は横向きに揃えて並べられています。これは初代校長であった高橋季義によって取り入れられたものであり、無駄な動きのない合理的な考え方として現在まで引き継がれています。  
○寮室のベッドメイクにおいては、シーツはしわ一つ無く敷くよう指導され、できるまで何度も繰り返されます。身の廻りの整理・整頓ができなくて一人前の社会人とは言えないからです。